



「冬江差 美味百彩 なべまつり」での活動の様子と販売している加工品（右 上から「かたこもち」、「大豆かりんとう」、「漬物」）

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

えさし水土里の会

【江差町】

地域の食の伝統を守り、女性の力で農村の活性化

はじまりは？

江差町は、鎌倉時代より和人が住み始め、江戸時代には北前船により交易で栄えてきました。今も、伝統芸能や生活文化など有形・無形の遺産が数多く伝承・保存されています。

えさし水土里の会は、平成23年から地域で廃校になった小学校跡を有効活用し、農産物を加工する企画に参加した農家の女性会員11名を男性会員3名がサポートする形で活動を始めました。

おもな活動

江差町で生産される農産物を使い、地域で伝統的に作られている米菓子「かたこもち」、漬物や味噌を作り、道の駅やイベント会場などで販売しています。また、伝統的な加工品だけでなく、新たな加工品である「大豆かりんとう」の開発を行い、函館空港でも販売されています。

また、町内の子供たちやその親を対象にした「かたこもち」づくり体験を行い、地域の伝承文化を理解し守る活動を行っています。



「かたこもち」づくり体験の様子（左）と古くから使われてきた「かたこもち」の型（右）



ここが自慢

【女性の力で地域を活性化】

活動を始めて5年あまりですが、江差町のふるさと納税の返礼品の準備、東日本大震災で被災した福島県の子供たちの受け入れ、漁業者と協力して行った子供たちと海苔巻き作りなど、加工品の生産と販売を行うだけでなく活動の場を少しづつ広げています。



福島県の子供たちの農業体験（左）と漁業者と協力した海苔巻き作り（右）の様子

連絡先

代表者名：長尾 和子さん／設立：2011年／会員：14名

住所：檜山郡江差町水堀町133 江差土地改良区内

電話番号：－

F A X：－

E-mail：－

U R L：－